

From Chernobyl



未来の福島子ども基金 NEWS No.3 2012年11月発行

<http://fukushimachildrensfund.org/> fromcherno0311@yahoo.co.jp

郵便振替口座：00190-0-496774 口座名：チェルノブイリから日本を考える会

報告会

2012年夏子どもたちの保養 ～チェルノブイリと福島～

◆チェルノブイリの子どもたち

(チェルノブイリ子ども基金・事務局長 佐々木真理)
今年6・7月にベラルーシとウクライナのサナトリウムで開催した保養と、病気の子どもをもつ家族訪問の報告。

◆福島の子どもたち(1)

「沖縄・球美の里」での保養

(未来の福島子ども基金・世話人 津布久賢三郎)

沖縄・久米島に開設した保養所「沖縄・球美の里」で、今年7月から始まった福島の子どもの保養の様子を報告。

◆福島の子どもたち(2)

健康相談会をおして

(小児科医、未来の福島子ども基金・代表、

チェルノブイリ子ども基金・顧問 黒部信一)

福島市や首都圏での避難者向け相談会に参加した際の今の福島の子どもたちの様子を伝える。



日時 **11/25 (日)**

(13:30 開場)

14:00 ~ 16:00

場所 **JICA 地球ひろば
セミナールーム 600**

JR・東京メトロ「市ヶ谷駅」より徒歩10分

※入場無料、事前申込み不要

主催 チェルノブイリ子ども基金
未来の福島子ども基金

連絡先 チェルノブイリ子ども基金

TEL / FAX 03-5228-2680

E-mail cherno1986@tokyo.email.ne.jp

福島の子ども保養プロジェクト

「沖縄・球美の里」がオープン

7月5日、福島からの母子50名を迎えて「沖縄・球美（くみ）の里」がオープンしました。「球美の里」は年間を通じて被災児童を受け入れる保養施設としては、日本で最初の試みになります。

7月8日には久米島でオープニングセレモニーが開かれ、久米島の人々が心のこもった催しで福島の子どもと「球美の里」を歓迎して

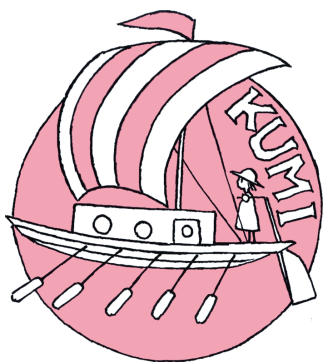


陶芸工房の跡地を利用して開かれた保養所

くれました。セレモニー会場は人であふれ、久米島の子どもたちが人形劇や踊りを披露し、最後にはミュージシャンの石井竜也さんが歌と励ましの言葉でセレモニーを締めくくってくれました。

「球美の里」のシンボルマークは映画監督の宮崎駿さんがデザインしてくれました。帆をはった船の図柄には「自然の力を受けて、みんなで力を合わせて櫓をこいで進む」というメッセージが込められています。

久米島の豊かな自然に抱かれ、多くの皆さまの支援にささえられ



て「球美の里」は力づくよく漕ぎ出しました。

「球美の里」は毎日子どもたちの笑い声が響き、活気で満ち溢れています。子どもたちは、久米島の美しい海で遊び、太陽に照らされ、力いっぱい走り回り、友だちと笑いあつて過ごします。そして、おいしい久米島の水と食べ物をいただいて、ゆつくりと眠り、心も体も強く元気になって家にかえっていく。

そういうふう「球美の里」は、日ごろ放射能に囲まれた環境で暮らす子どもたちが、保養を通じて健康を維持・快復できるよう、通年にわたって開かれた保養プロジェクトのセンターです。

未来の福島こども基金は、保養を通じて子どもたちに心と体のやすらぎと力をプレゼントしたいという想いから、また子どもたちが希望を持ちつづけてくれることが支援する私たちにとつてもかけがえのない幸せであるという想いから、「球美の里」を支援します。

まだ保養プロジェクトは始まったばかりです。保養を必要とする子どもたちが一人でも多く「球美の里」に参加できるように今後も支援をつづけていきます。

保養計画（これまでとこれから）

- 第1回 2012年7月5日
- 2012年7月20日 終了
- 第2回 2012年7月26日
- 2012年8月10日 終了
- 第3回 2012年8月20日
- 2012年8月30日 終了
- 第4回 2012年9月6日
- 2012年9月26日 終了
- 第5回 2012年10月11日
- 2012年10月24日 終了
- 第6回 2012年11月7日
- 2012年11月22日
- 第7回 2012年12月25日
- 2013年1月7日 募集中
- 第8回 2013年1月23日
- 2013年2月7日（予定）
- 第9回 2013年2月21日
- 2013年3月8日（予定）

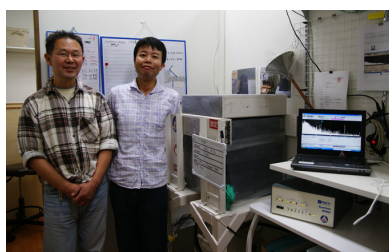
※2012年11月3日現在

ゲルマニウム半導体検出器の活用

NPO法人CRMS 市民放射能測定所福島 副理事長 長谷川浩

未来の福島こども基金とDAYS放射能測定器支援募金からそれぞれ255万円ずつ、合計510万円のご支援は、個人からの寄付300万円と併せて、ゲルマニウム半導体検出器(型式:プリンストンガンマテクノロジ社NIGC16190SD)の購入に充てました。

ゲルマニウム半導体検出器の使用目的は主に2つです。1つは、市民からの高精度分析の要望に応えることです。そのような高精度の分析を行うためには、測定時間を長くし、しっかりと遮蔽をする必要があります。市民放射能測定所では、1トン(そして数百万円)もの鉛と銅を使って外部からのガンマ線を完全に遮蔽しています。



3時間測定で1核種0.5 Bq/kg、24時間測定でも1核種0.2 Bq/kg程度が検出限界となります。

もう1つは、日常のスクリーニングに使っているヨウ化ナトリウム(NaI)シンチレータの測定値の妥当性の確認と、NaIでは、福島第一原発からの放射能と天然の放射能がうまく測り分けできない場合に精密測定を行っています。例えば、ヨウ素131と鉛214のピークの分離測定、セシウム134とビスマス214のピークの分離測定などです。これについては、全国にある市民による測定所からの依頼にも対応しています。

ご寄付いただいた機種は今年7月に導入されてから活用してきました。ゲルマニウム半導体検出器は、注文が殺到しており納品されるまでに予定よりも長い日数がかかってしまいました。昨年からは今年6月までは無償で借り入れていた古いゲルマニウム半導体検出器を利用していました。10月15日時点で、259検体を測定しました。内訳は、外部からの一般受付102点、CRMSスタッフ自身のサンプル測定75点、NaIシンチレータとのクロスチェック47点、他の測定所からの依頼による検体のクロスチェックや標準試料(主に玄米)の測定35点でした。サ

ンプルの種類別では、食品が102点と圧倒的に多く、水57点、土壌16点、その他の試料8点でした。これからも、市民からの高精度測定依頼に応え、他の市民測定所の測定技術向上をサポートするため、ゲルマニウム半導体検出器の有効活用を図っていきます。今後とも暖かなご支援をよろしくお願ひします。



住宅地にある測定所を運営するのは石田照美さん。石田さんは昨年の福島第一原発事故のあと、独自にポータブル線量計を購入し、鉛遮蔽容器を作成して、測定活動おこなってきました。今年に入り、さらに高性能な測定器の購入を考えていたところ、未来の福島こども基金の放射能測定器支援の話聞き、市民測定所の設立を決意したということです。

特筆すべきはなによりも石田さんが独自に制作した鉛遮蔽にあります。食品放射能測定器AT1320Aには、まずその上に15kgの鉛の蓋がとりつけられ、側面には1枚10kgの鉛板が12枚、さらに測定器の下に100kg超の鉛の塊が敷いてあります。鉛遮蔽の総重量は200kg超。そしてその周りをベクトボトルに入った水の壁(2L×120本)がぐるりと取り巻いています。

市民測定所紹介 みんなの測定所 ふじみーる

埼玉県富士見市／開所日2012年7月8日／営業時間11時～17時(月、水)／<http://demarket.net/fujimi-rn/>／電話080-1307-1139／uranda0311@gmail.com

●測定機器

・食品測定器 ATOMTEX AT1320A

★未来の福島こども基金とDAYS放射能測定器支援募金が費用の一部を支援

検出核種: ヨウ素131・セシウム134・セシウム137・カリウム40

・空間線量計掘場PA・1000Radi

その遮蔽によって、30分の測定で5Bq/kgの検出下限値を実現しています。同じ測定器でも遮蔽のない場合には30分の測定で10Bq/kgが通常の下限值です。石田さんは他の測定所では検出できない少量のセシウムでも検出できるようにすることで、わずかな放射能にも影響をうけやすい小さな子どもたちの命を守りたいと話します。

現在、ふじみーるでは赤ちゃんの飲む粉ミルクの無料測定キャンペーンを行っています。それに加えて、10月からは掃除機のゴミパックの測定をはじめまし

た。これまでに富士見市内の一般家庭のゴミパックから2000 Bq/kgのセシウムが検出されています。

石田さんは、自分は放射能には関係ないと思っている人にも、放射性物質が家の中にまで入り込んでいる可能性があること、その異常さに気がついてもらいたいと言います。とくに赤ちゃんは床を這って歩くので余計に注意してもらいたいと。

「市民測定所の測定は、市民をただ安心させるのではなく、市民が放射能の危険性に気づいて、子どもたちや私達の命と健康を守るようにするためにある。その一環として、粉ミルクの測定やゴミパックの測定も行ってきました。今後も放射能の危険性をみんなに伝えられるような測定を行っていきたい。命と健康を守るために、日本で一番検出下限値の低い市民測定所を目指します。」

放射能から、子どもたちや私達の命と健康を守りたいと思う方、ぜひふじみーるを応援し、測定所を利用して下さい。

これまでに支援した市民測定所

- ・ NPO 法人 CRMS 市民放射能測定所福島 (福島県福島市)
- ・ 市民放射能測定所・郡山測定所 (福島県郡山市)
- ・ あぶくま市民放射能測定所 (福島県田村市)
- ・ いわき放射能市民測定室 たちね (福島県いわき市)

・ しらかわ市民放射能測定所 べく知る

- ・ (福島県白河市)
- ・ 横浜市民測定所 (神奈川県横浜市)
- ・ (神奈川県横浜市)

協力関係にある市民測定所

- ・ みんなの放射線測定室 としてと (宮城県柴田郡大河原町)
- ・ 小きき花 市民の放射能測定室 仙台 (宮城県仙台市)

※各市民測定所については、前回のニュースレターおよびホームページもあわせてご覧ください。

講演会のご案内

「チェルノブイリから学ぶ福島の子どもの保養」
 【講師】チェルノブイリ被災地の子どものための保養所「希望21」所長
 ヴィアチャスラヴ・マクシンスキー
 (ベラルーシから来日)

【日程・場所】

- ・ 12月15日(土) 久米島
 - ・ 12月16日(日) 東京
 - ・ 12月17日(月) いわき
 - ・ 12月19日(水) 京都
- ※詳細は D A Y S J A P A N と球美の里のホームページをご覧ください。

会計報告 2012年6月1日～9月30日 (単位：円)

収入		支出	
繰越	2,963,945	球美の里支援	5,000,000
会費	997,000	印刷費・送料	136,709
募金	6,844,524	交通費ほか経費	75,231
		繰越	5,593,529
合計	10,805,469		10,805,469

会費 維持会員 64名 ※会費には寄付金も含まれます
 一般会員 119名
 募金 242名

★たくさんのご寄付をありがとうございます

寄付団体名(2012年6月～2012年9月末まで)
 敬称略。紙面の都合により団体名のみ記載)
 愛知映画祭東北物産展協力団体/新しい風/CUBE
 BAR & LATHRILIS/FukkkOBU/YU-EN LLC/アレルギーっ子の食を考える会/安心して住みたい愛知/飯田弁護士事務所/市川学園第2幼稚園 おひさまの会/いのちと未来を守る大集会実行委員会/大磯ステパノ自然エネルギーによる電力時給をめざす会議/沖縄よりいれい先生をお迎えて宮城県参加者一同/核燃とめよう会/九条の会 三条/小池音楽教室/古書のウェブショップリーディングッド/子どもの未来社/桜台横笛会/自然エネルギー推進ネット・光/島尻自治会/昂有志一同/創成会真岡西部クリニック/そらとも/「空と海の間に」チャリティライブ/チェルノブイリ子ども基金/照恩寺/手をつなごうネットワーク/原発神戸端会議/脱原発映画とお話の集い/DVD 上映会 新座/日本キリスト教団 沼津岳南教会/ピースライブイン こうち/東所りサイクルの会/日本キリスト教団下関教会 婦人会/練馬の子どもを守ろう会/百町森エコプロジェクト/広島県子どもの読書連絡会/福音館書店労組/福山市人権平和資料館/フクシマを思う実行委員会/みんなの測定所 ふじみーる/文化の泉/ベルク/法然院/ほっとふるサロン/まちかど美術館/民宿夢民村の宿泊者/みんなで映画を見よう会/優輝学習スクール/横浜市民測定所/ Love for Japan Bangkok/

★みなさまにお願い

振込用紙つきチラシを新しくしました。一律に同封させていただきます。ぜひ、チラシをまわりのかたに広めてください。枚数をお知らせくださればすぐにお送りします。どうぞよろしく願いいたします。